

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2017-64189(P2017-64189A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2015-195132(P2015-195132)

【国際特許分類】

A 61 F 9/008 (2006.01)

【F I】

A 61 F 9/008 120 B

A 61 F 9/008 130

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者眼を観察する観察光学系と、

患者眼に向けて治療用の第1レーザ光を照射する第1照射光学系と、

患者眼に向けて治療用の第2レーザ光を照射する第2照射光学系と、

前記第1レーザ光の照射をガイドするための第1ガイド光を患者眼に向けて照射する第1ガイド光学系と、

前記第2レーザ光の照射をガイドするための第2ガイド光を患者眼に向けて照射する第2ガイド光学系と、

を備え、

前記第2照射光学系は、前記観察光学系のピントが合う基準面よりも遠方または近方に前記第2レーザ光の集光位置をずらすことで、前記基準面での前記第2レーザ光のスポットサイズを、前記基準面での前記第1レーザ光のスポットサイズよりも大きくし、

前記第1ガイド光学系および前記第2ガイド光学系は、前記第1ガイド光および前記第2ガイド光を前記基準面上に集光させる、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項2】

請求項1に記載の眼科用レーザ治療装置であって、

前記第2ガイド光学系および前記第2照射光学系は、前記第2ガイド光のスポットサイズと前記第2レーザ光のスポットサイズとを前記基準面において一致させる、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の眼科用レーザ治療装置であって、

前記第2ガイド光学系の光路には前記第2レーザ光を導光するための光ファイバーが設けられていると共に、前記光ファイバーの出射端と前記基準面とが光学的に共役の位置関係とされている、

ことを特徴とする眼科用レーザ治療装置。